

News Release

平成29年 5月12日

会社名 パイオニア株式会社
代表者名 代表取締役 兼 社長執行役員 小谷 進
(コード 6773 東証第一部)
問合せ先 取締役 兼 常務執行役員 川尻 邦夫
(電話 03-6634-8777)

資本準備金の額の減少および剰余金の処分についてのお知らせ

当社は、平成29年5月12日開催の取締役会において、平成29年6月28日に開催する定時株主総会に、下記のとおり資本準備金の額の減少および剰余金の処分について付議することを決議しましたので、お知らせします。

記

1. 資本準備金の額の減少および剰余金の処分の目的

当社単独の貸借対照表において、繰越利益剰余金の欠損の填補を行うとともに、今後の柔軟かつ機動的な資本政策や早期に復配できる体制を実現するため、資本準備金の額の減少および剰余金の処分を行うものです。

2. 資本準備金の額の減少および剰余金の処分の要領

- (1) 会社法第448条第1項の規定に基づき、平成29年3月31日時点の資本準備金の額の一部を減少させ、その他資本剰余金に振り替えます。

減少する準備金の項目およびその額

資本準備金 7,000,000,000円

増加する剰余金の項目およびその額

その他資本剰余金 7,000,000,000円

- (2) 会社法第452条の規定に基づき、上記資本準備金振替後のその他資本剰余金の一部を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の欠損を填補します。

減少する剰余金の項目およびその額

その他資本剰余金 24,871,733,728円

増加する剰余金の額

繰越利益剰余金 24,871,733,728円

<ご参考> 実施前後の純資産（単独）の構成

（金額単位 百万円）

	実施前	実施後	増 減
資本金	91,731	91,731	-
資本剰余金	56,015	31,144	24,871
資本準備金	26,288	19,288	7,000
その他資本剰余金	29,727	11,855	17,871
利益剰余金	24,871	-	24,871
繰越利益剰余金	24,871	-	24,871
自己株式	11,051	11,051	-
評価・換算差額等	255	255	-
純資産合計	111,569	111,569	-

3．日程

- (1) 取締役会決議日 平成29年5月12日
- (2) 株主総会決議日 平成29年6月28日（予定）
- (3) 債権者異議申述公告 平成29年6月29日（予定）
- (4) 債権者異議申述最終期日 平成29年7月29日（予定）
- (5) 効力発生日 平成29年7月31日（予定）

4．今後の見通し

本件は「純資産の部」の勘定の振替であり、当社の純資産の額に変動はありません。また、当社の連結および単独の業績に与える影響はありません。

なお、上記内容につきましては、平成29年6月28日開催予定の定時株主総会において承認可決されることを条件としています。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いいたします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他の事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

以上